

●発表日:令和6年(2024年)8月28日

童浦小学校新屋内運動場が完成しました！

このたび、屋内運動場の老朽化に伴い、童浦小学校屋内運動場を改築し、9月2日から供用を開始します。

当該屋内運動場については、教育環境の改善および災害時の避難所としての環境整備を図るため、田原市立小中学校で初めて空調設備を整備しました。

また、当該屋内運動場の改築に併せて、児童クラブ施設を併設しました。

1 施設概要

名 称	童浦小学校屋内運動場
所在地	田原市浦町米山64番地1
敷地面積	26,145㎡
構 造	鉄骨造2階建て
延床面積	1,274㎡
主要諸室	アリーナ 732.1㎡、ステージ 80.6㎡、 器具庫 79.1㎡、児童クラブ 121.4㎡、 防災倉庫 21.5㎡
その他諸室	トイレ、多目的トイレ、倉庫(児童クラブ)、事務室(児童クラブ)
主要設備	空調設備、LED照明、ガスバルク(985kg)
設計監理	I R A K A設計事務所
施 工	株式会社菰田建設(建築工事) 株式会社天野ポンプ(機械設備工事) 株式会社サイテックス(電気設備工事)
総工費	522,399,900円
工 期	令和5年9月27日～令和6年8月23日



2 空調設備について

〈システム〉

- ・ハイブリッド型輻射式冷暖房システム

〈機器／能力／仕様〉

- ・ガスヒートポンプエアコン 40馬力相当（5馬力×4台×2セット）

電源自立型（停電時対応GHP）

〈特徴〉

- ・GHPエアコンについて

EHPに比べ、ランニングコスト及びイニシャルコストの低減にも効果的で、ガスバルクの設置及び自立発電機能により、災害時に強い施設となる。

- ・輻射パネルについて

輻射とは熱の移動方法の一種で、温度の高い方から低い方へ、移動する現象であり、輻射パネルはその原理を利用し、冷房時は吸熱、暖房時は放熱し、室内環境を快適にする。

エアコンのみの空調と異なり、対流（風）の影響が小さく体の負担を軽減するだけでなく、通常のエアコン単体と比較し、約7割の台数で同等の効果が発揮できるなど、省エネでコスト削減効果もある。

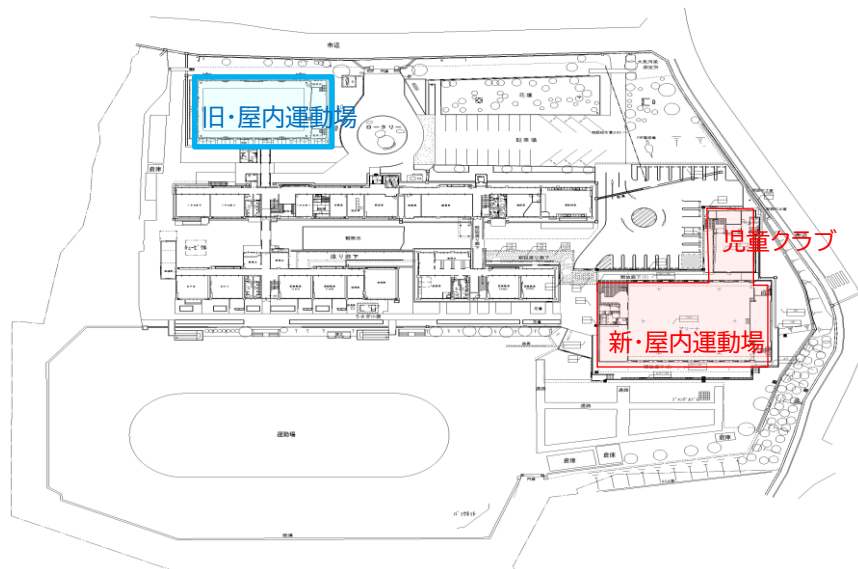
3 防災機能について

〈特徴〉 **電源自立型**機能について

停電時、自立発電（ガスバルクから供給して稼働）により空調機を稼働させ、照明機器やコンセントに電気を供給することができ、避難所機能向上に繋がる。

※ガスバルク容量の貯蔵上限量50％で、災害時に稼働させる消費機器へ、最低3日間供給することが可能。

4 配置図



童浦小学校児童会主催「新体育館に感謝する会」を開催します

- 日 時： 9月2日（月）9時30分～9時50分（始業式終了後）
- 場 所： 童浦小学校 新体育館
- 参加者： 全校児童382名、教職員、工事関係者（予定）